

# 防災計画

## 【地震・水害リスクへの対応】

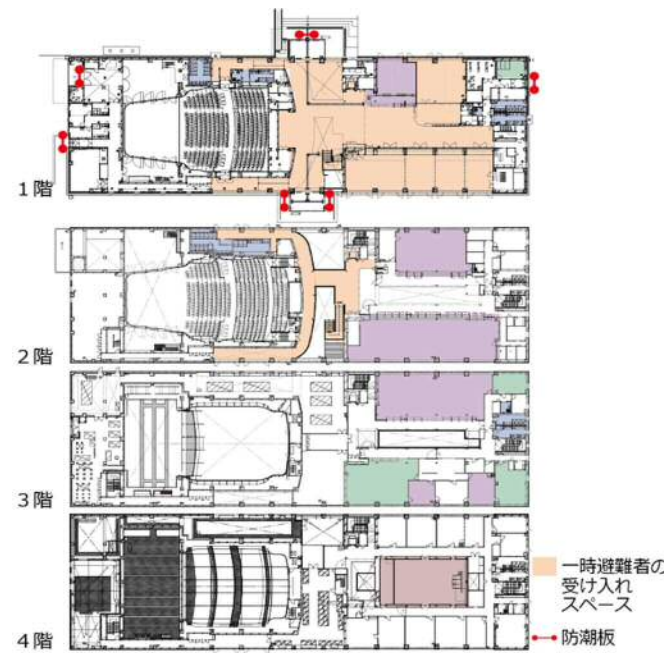
- ・大規模な地震が起こった際でも、防災拠点施設として機能が十分発揮できる耐震性・安全性を有する施設とするため、耐震グレードは一般建物より耐震性を高めた1類の耐震構造とします。
- ・1階床レベルのかさ上げ、1階出入口に防潮板の設置、重要設備の上層階設置のほか、1階と2階の設備系統を分け浸水リスクを回避します。

## 【非常時のライフライン3日間確保】

- ・非常時のライフライン3日間確保を目標に、非常用発電機や受水槽、緊急排水層等の設備を備えます。

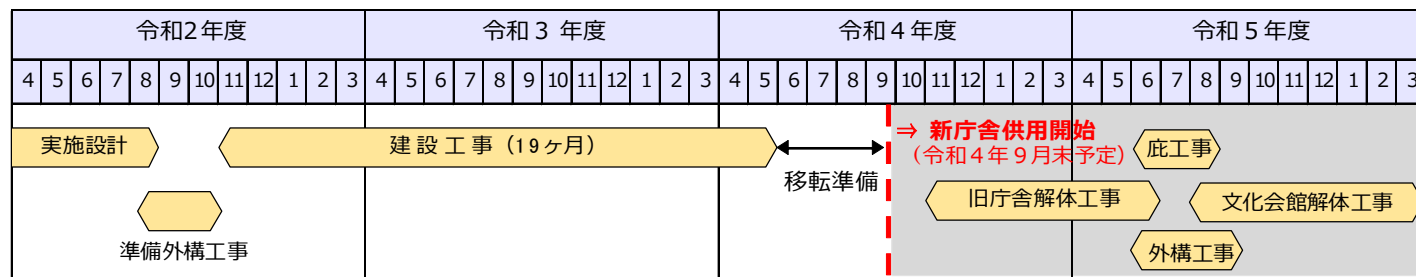
## 【一時避難所や災害対策本部機能の確保】

- ・災害時は、一時避難者の受け入れとして1階及び2階（市民交流プラザ、市民ロビー、ホワイエ等）を利用できるようにします。
- ・災害対策会議室や執務室は、災害対応や復旧作業を迅速に進められるよう、非常用発電機により照明や電源を供給します。
- ・非常時の備蓄資器材用の倉庫を施設内に備えます。



非常時の機能維持範囲（BCP対応範囲）

# 事業スケジュール



# 概算事業費

建設工事実施にあたり、「技術協力交渉方式（ECI方式）」により、実施設計段階から施工業者の優れた技術と経験を取り入れコストの縮減や工期短縮が図られたことから、概算事業費合計で基本設計時の63.9億円から1.6億円減の62.3億円を見込んでいます。

概算事業費			
区分	基本設計	実施設計	備考
建設工事費	50.3億円	46.5億円	建築工事、電気設備工事、機械設備工事など
解体工事費	5.8億円	5.8億円	庁舎及び文化会館解体工事
外構工事費	1.2億円	1.2億円	駐車場等整備など
その他経費	6.6億円	8.8億円	設計調査費、備品・移転費用など
合計	63.9億円	<b>62.3億円</b>	消費税含む（基本設計と比較し1.6億円減）



新庁舎南側 外観イメージ

財源見込み			
区分	財源	財源	国の財政支援
地方債（借金）	市町村役場機能事業※1	34.0億円	10.1億円
	集約化・複合化事業※2	15.6億円	9.0億円
補助金・交付金		5.7億円	5.7億円
基金（貯金）		7.0億円	
合計		62.3億円	<b>24.8億円</b>

地方債（借金）は国の財政支援のある次の2つの事業を活用します。  
 ※1 市町村役場機能緊急保全事業は令和2年度まで（特例措置あり）  
 ※2 集約化・複合化事業は令和3年度まで

# 富良野市新庁舎建設実施設計の概要



新庁舎北側 外観イメージ

# 設計概要

## ■基本方針

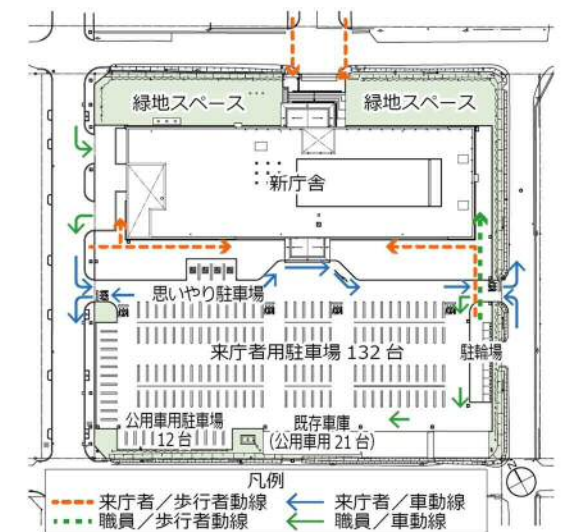
新庁舎建設のテーマ『人、まち、自然をつなぎ、次世代の子どもたちへつなぐ庁舎』の実現を目指し、防災・災害対応拠点の強化を念頭に、庁舎と文化会館機能の複合化により、新たな賑わいを創出し、新庁舎がまちづくりを推進する拠点施設となるため、新庁舎の基本方針を次のように設定します。

- 1 防災拠点機能を発揮できる災害に強い庁舎
- 2 市民が利用しやすい庁舎
- 3 人や環境にやさしい庁舎
- 4 機能性・効率性・経済性を重視した庁舎
- 5 市民が気軽に訪れて親しみやすい庁舎

## ■建物概要

建設位置	富良野市弥生町1番1号		
敷地面積	12,564.35㎡		
構造	鉄筋コンクリート造、一部鉄骨造、一部鉄骨鉄筋コンクリート造（耐震構造）		
階数	地上4階	建物高さ	21.17m
駐車台数	来庁者用132台	公用車用33台	駐輪台数30台
建築面積	3,197.68㎡	延床面積	8,883.96㎡

## ■配置計画





## 立面計画

- ・建物形状は水平ラインでボリュームを抑えたシンプルな矩形（長方形）とします。
- ・外壁は、メンテナンス性や耐久性の高いレンガタイルと特殊熱処理木材パネルを採用します。



## 断面計画

- ・コミュニケーションポイド（吹抜空間）による採光と開放的な空間、わかりやすい階構成とします。
- ・水害対策として、1階床レベル0.5mかさ上げし、1階出入口に防潮板を設置。電気室等は上層階に配置し、1階と2階以上で電気系統分けすることで水害リスクを回避します。



## 環境配慮計画

- ・自然採光や自然通風等の自然エネルギーの活用を基本とし、高断熱・高气密化により空調負荷を低減。再生可能エネルギーの井水熱を活用した熱源システム等の高効率な設備システムにより、環境に配慮した庁舎とします。
- ・感染予防対策として換気基準に基づく換気や、非接触型の人感センサー等を採用します。

## 大ホール計画

- ・現文化会館の後継ホールとして様々な演目に利用しやすい多目的なホールとし、舞台に隣接して小楽屋、防音性能のあるリハーサル室、客席には子ども連れの方のために親子室を配置します。
- ・音楽公演用に音響反射板を設け、ホール天井や壁を曲面形状とすることで音響効果の向上を図ります。



【客席】

固定席	510席
車いす席	6席
合計	516席

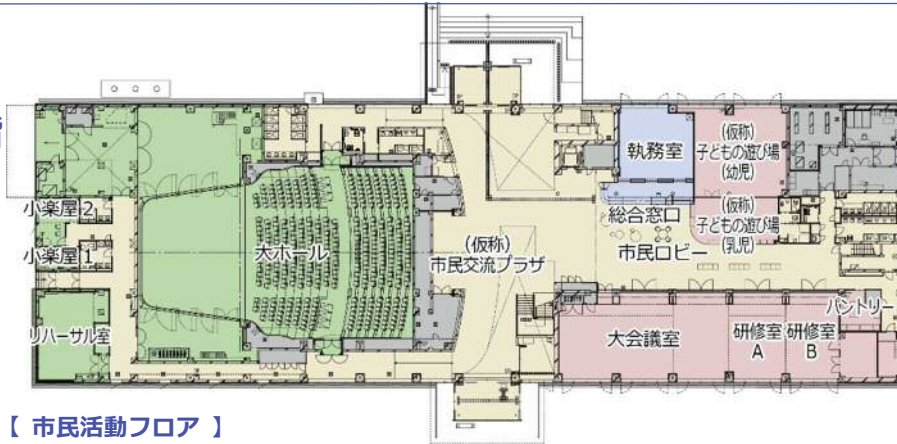
【舞台】

舞台間口	約15m
舞台奥行	約12m
舞台間口高さ	約8m

大ホール 内観イメージ

## 平面計画

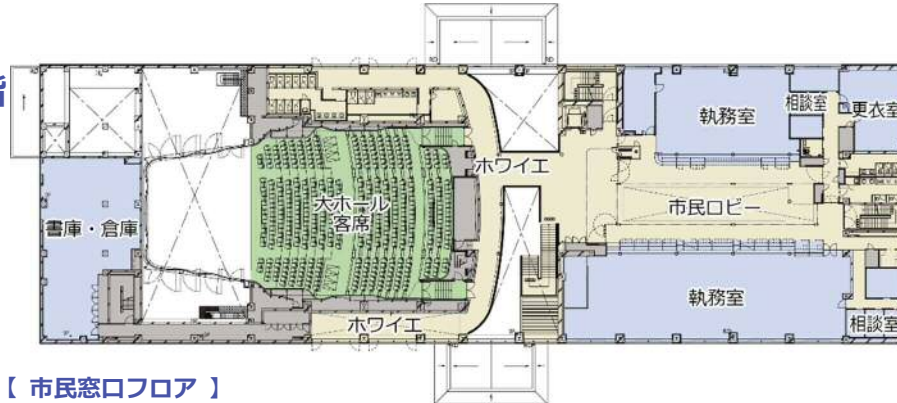
### 1階



#### 【市民活動フロア】

- ・市民協働・交流の場（仮称）市民交流プラザや、大ホール・大会議室等の貸館を1階に集約。総合案内や貸館受付、住民票発行等を行う総合窓口や会計を配置

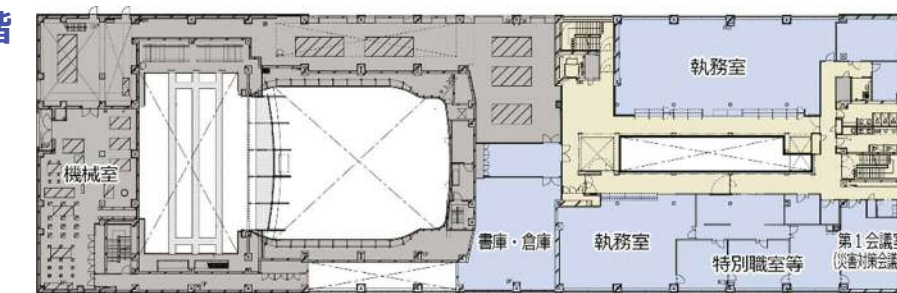
### 2階



#### 【市民窓口フロア】

- ・市民窓口をワンフロアに集約 ・プライバシーに配慮した相談室を配置

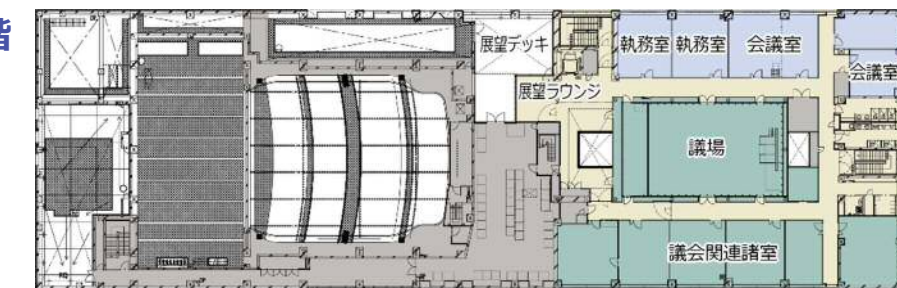
### 3階



#### 【特別職室・災害対策会議室フロア】

- ・特別職室や、総務・事業部門の執務室を配置
- ・災害時に迅速に対応できるよう特別職室等に隣接して災害対策会議室を配置

### 4階



#### 【議会フロア】

- ・議会関連諸室を集約。議場はフラットな床・可動席とし会議等でも利用可能
- ・議場ロビーからつながる展望ラウンジ、展望デッキから市内の眺望が可能

#### 【主な設備等】

- ・13人乗りエレベーターを1基設置します。
- ・多目的トイレを各階に設置し、1階多目的トイレには、オストメイトやオムツ替えシートを設置します。
- ・（仮称）子どもの遊び場付近に授乳室、子ども用トイレを設置します。
- ・飲食を伴う貸館用のパントリーに簡易な炊事設備を設置します。

#### 【市民要望等による基本設計からの変更箇所】

##### 1階

- ・中央階段の位置を変更し1階の各部屋の見渡しをよくしました。
- ・（仮称）市民交流プラザに大型モニター・デジタルサイネージ（電子看板）を設置し富良野らしい風景や観光案内、議会中継、行事案内等の情報発信を行います。
- ・（仮称）子どもの遊び場に掲示壁にもなる仕切り壁で、貸館と区切り落ち着いた空間とします。
- ・小楽屋を上げました。

##### 2階

- ・執務室のカウンター形状や配置を変更しました。

##### 3階

- ・特別職室の位置を市民目線に近い中央寄りに変更しました。
- ・執務室や関連諸室の配置を変更しました。

##### 4階

- ・傍聴者の動線を良くするため議場の位置を反転し議会関連諸室の配置を変更しました。
- ・展望ラウンジや展望デッキを設置し、議員ロビーから繋がる明るく開放的な空間や市内を眺望できる空間とします。

#### 塔屋

- ・災害時に重要となる非常用発電機室を4階から最上階に移動し塔屋の形状を変更しました。



1階市民ロビー 内観イメージ



1階（仮称）子どもの遊び場 内観イメージ



2階市民ロビー 内観イメージ



4階議場 内観イメージ



4階展望デッキ 内観イメージ